

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	マンセラ郡において、教育環境整備を通じ基礎教育を強化する
(2) 事業内容	<p>事業は予定通り進捗している。</p> <p>イ) 学校校舎の再建</p> <p>事業開始前に入札により選定した建設業者と正式に契約を交わし、8校(Dibori 公立男子高等学校、Lami Battal 公立男子中学校、Bai Payeen 公立男子中学校、Susal Jhangar 公立女子小学校、Nizam Dana 公立女子小学校、Jandri Hotar 公立男子小学校、Kehninan 公立女子小学校及び、Manawal 公立男子小学校)の建設を進めているほか、残りの2校(Shanai Bala 公立女子中学校及び、GGPS Channai Haryla 公立女子小学校)に関しても9月中に着工する。建設開始にあたり、各コミュニティと建設業者を含めたミーティングを開催し、地域からの協力確約を書面にて確認した後、土壌検査を実施し、建設を開始した。</p> <p>建設の進捗と技術面での質、建設仕様の確認のため、当プロジェクトのエンジニアが日々現場に出かけ、モニタリングを実施している。モニタリング結果に関しては、毎週、東京本部まで報告書を提出している。</p> <p>学校の規模に応じて、工事着工時期をずらすことにより、一つの建設業者やエンジニアが複数の学校を担当することができるようにした。これにより、建設業者の管理を容易にすることができた。現在まで、建設は計画通りに進捗している。</p> <p>各学校の着工時期は以下のとおり：</p> <p><u>3月着工</u>：Dibori 公立男子高等学校、Lami Battal 公立男子中学校、Bai Payeen 公立男子中学校、Susal Jhangar 公立女子小学校、Nizam Dana 公立女子小学校(5校)</p> <p><u>5月着工</u>：Jandri Hotar 公立男子小学校(1校)</p> <p><u>7月着工</u>：Kehninan 公立女子小学校、Manawal 公立男子小学校(2校)</p> <p><u>9月着工予定</u>：公立女子中学校 Shanai Bala、公立女子小学校 GGPS Channai Haryla(2校)</p> <p>各校の進捗は以下の通り：</p> <p>* <u>Dibori 公立男子高等学校</u>：64%完了</p> <p>下水処理用汚水タンクの煉瓦を積む作業を含み、全体として64%が完了した。現在、境界壁の支柱と校舎床の大理石の設置が進行中である。</p> <p>* <u>Lami Battal 公立男子中学校</u>：87%完了</p> <p>校舎床の大理石の設置と擁壁基礎部分へのコンクリートの注入が完了した。大理石の研磨、境界壁のレンガをコンクリで塗り固める作業、下水設備は進行中である。</p> <p>* <u>Bai Payeen 公立男子中学校</u>：85%完了</p>

トイレのレンガ壁をコンクリートで塗り固める作業が完了した。大理石の研磨、境界壁をコンクリートで塗り固める作業、校庭部分の整地が進行中である。

\* Susal Jhangar 公立女子小学校 : 90%完了

校舎床用大理石の設置、つり天井の設置が完了し、全体の仕上げ作業に移った。

\* Nizam Dana 公立女子小学校 : 85%完了

建物の内壁をしっくい塗る作業が完了。今後は校舎の床用大理石の設置と校庭部分の整地を予定。

\* Jandri Hotar 公立男子小学校 : 50%完了

境界壁の基礎のための掘削作業が完了。今後は、境界壁基礎部分にコンクリートを注入する作業を予定。

\* Kehninan 公立女子小学校 : 13%完了

境界壁の基礎部分にコンクリートを流す作業、下水処理用の汚水タンクの石組み作業が完了。今後は、校舎基礎部分にコンクリートを注入する作業を予定。

\* Manawal 公立男子小学校 : 13%完了

校舎基礎部分にコンクリートを注入する作業が完了。今後は下水処理用の浄水タンクの石積み作業を予定。

ロ) 教師、PTC メンバー、生徒会に対する研修事業

\* Susal Jhangar 公立女子小学校と Dibori 公立男子高等学校にて実施。残りの学校はラマダンの時期が開ける9月以降に実施予定。

#### 【その他】

Nizam Dana 公立女子小学校へのアクセス

6月中旬に Nizam Dana 公立女子小学校に至る道が、土砂滑りにより封鎖されたため、行政によって、コンクリート舗装がなされた。これらにより、Nizam Dana へのアクセスが閉鎖され、資材の運搬が1ヶ月にわたって閉ざされたが、現在は復旧している。また、地域住民の協力のもと、こうした遅れはおおむね取り戻されており、事業の進捗には影響しない。

教育局によるモニタリング

5月22日にマンセラ郡教育局及びマンセラ郡 Communication and Works 局（建設仕様の政府認定承認機関）によるモニタリングを受け入れた。特に問題は指摘されなかった。

ラマダン

7月20日から1ヶ月間のラマダンとそれに続くイード休暇のために現地では短縮労働が実施されたが、計画段階より、このことは織り込み済みであり、進捗計画に影響はない。

ハ) ニュースレター発行を通じた地域の情報共有・ネットワーク強化  
これまでN連下で再建した学校の学区および現在再建をしている学

	<p>区の地域住民にインタビューし、ニュースレター第3号<sup>1</sup>を発行し(ニュースレター別添)、計70部配布した。</p> <p>配布先と各配布数は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンセラ郡における教育環境整備事業(1~3期)およびマンセラ郡における教育環境整備・向上を通じた学校教育強化事業(1期)の再建校と現在再建中の学校(31校):各1部</li> <li>・上記31校のPTC(日本のPTAに同じ):各31部</li> <li>・マンセラ郡教育局:2部</li> <li>・ハイバル・パフトウンハー州政府:1部</li> <li>・Friendパキスタン事務局 5部</li> </ul>
(3) 達成された効果	<p>期待される効果として、(イ)校舎再建を通じた基礎教育の提供 (ロ) 公的教育制度における教育環境の整備 (ハ) 教師及び地域社会における意識啓発と能力向上及びネットワーク強化を掲げている。</p> <p>(イ) に関しては、未だ学校建設の途中であるので成果を図る段階には至ってはいないが、建設は予定通りに進捗している。</p> <p>(ロ) に関しては、Susai Jhangar 公立女子小学校とDibori 公立男子高等学校にて生徒会研修を実施。これまでこのような研修を受けていなかった生徒たちには、学校における責任と役割における意識の変化が見られた。具体的には、より授業を受けるのに効果的な机の配置などを考え始めたり、学校周辺に緑を植えたり、学校の敷地内からゴミを綺麗にしたりなどが報告されている。</p> <p>(ハ) に関しては、第3号のニュースレターを実施し、上記記載の通り地域に配布し、情報の共有を行った。今後、この第3号ニュースレターを受けての住民の反応を次号のニュースレターに掲載する等を通じ、地域間のコミュニケーションを促進する予定となっているため、現段階での効果は測定していない。</p>
(4) 今後の見通し	<p>今後も順次建設を進め、2013年2月中に10校すべての学校の再建を終了する。また、教師、PTCメンバー、生徒会に対しての研修は、原則建築が終わった後に実施の予定であるが、全体の進捗をかながみつ、フレキシブルに実施する予定。ニュースレターに関しても残り4カ月で第4号・第5号を発行し、地域間のコミュニケーションを促進してゆく。</p>

<sup>1</sup> 前期事業からの通し番号になっているため、3号としているが、今期事業では初めてのニュースレターとなる